

6月16日に6人が一般質問をしました。

一般質問とは…議員が村長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来に対する方針など、諸問題について報告や説明を求めたり、質問することをいいます。

一般質問項目一覧表

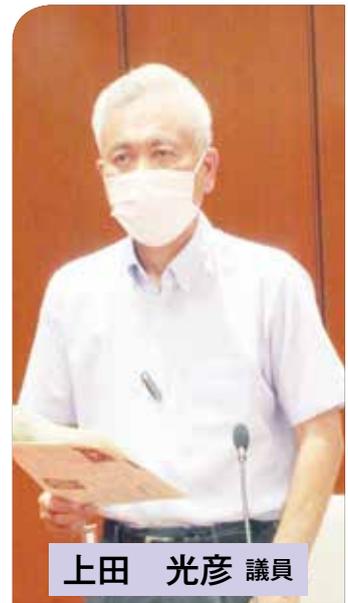
- ①上田光彦議員……………7ページ
 - 1. 日光川堤防改修の要望
 - 2. 同報無線戸別受信機更新
- ②中山恵美賀議員……………8ページ
 - 1. 子ども達への減農薬野菜の給食導入
 - 2. コロナ禍の中でのフレイル対策
- ③伊藤豊議員……………9ページ
 - 1. 新型コロナワクチン接種とコロナ差別
 - 2. 梅之郷地区の避難所と信号機の設置
- ④橋本渉議員……………10ページ
 - 1. コロナワクチン接種はいつできるのか
 - 2. コロナ支援は今年度どんなことをするのか
新しい支援は考えているのか
- ⑤八木敏一議員……………11ページ
 - 1. 「活気・魅力・人づくりの村」とは
 - 2. 住宅地開発の現況は、今後の取り組みは
 - 3. 第5次総合計画は、どのように策定していくのか
 - 4. 中途採用職員募集の目的は、何か
 - 5. 中学二年生の海外派遣事業の代替え事業はどうなるのか
 - 6. ゴミの分別の指導等は、どうしているのか
 - 7. 介護保険特別会計は、適正に行われているのか
- ⑥小川政徳議員……………12ページ
 - 1. 古台ソフトボール場、服岡緑地の現状は
 - 2. 梅之郷地区避難所建設の遅延理由

ズバリ!!
村政を問う

日光川堤防の飛
島大橋から国道23
号線区間、ヒビ割れの補
修と雑木の伐採は。

Q日光川堤防改修の要望

A継続的に要望する



上田 光彦 議員

答

○村長

日光川の河川管
理者である愛知県により
上流部の堤防補強工事の
延伸区間として、護岸矢
板の打設工事を順次実施
していく準備が進められ
ております。

問

5月に愛知県の
担当者に確認に行
きましたが、雑木の伐採
部分については、可能で
すとの回答でしたが。



加藤 光彦 村長

答

○村長

雑木の伐採につい
ては予算の範囲内で対応
すると聞いています。
他にも老朽化の箇所が
見受けられることから愛
知県に対し、継続的に要
望してまいります。



日光川堤防の雑木



情報アプリ（イメージ）



ハザードマップ

Q同報無線戸別受信機更新

A多様な情報発信を 検討する

問

文字情報の見え
る機器に更新でき
ないか。

以前、村は戸別受信機
は時期を見て更新すると
言っていたと思うが、更
新の予定は。

答

○村長

戸別受信機や文
字情報表示を追加する機
器の価格が高額であり、
設置箇所によっては屋外
アンテナ設置工事が必要
になります。また、近隣
自治体においても戸別受
信機の導入は行っており
ず、このことから更新に
至っていない状況です。

問

他の情報伝達手
段は。

答

○総務課長

防災メールを運
用しておりますが、8月

問

からあらかじめ登録した
固定電話への音声案内、
また、ファクスへの一斉
配信を導入予定です。

答

○総務課長

6月11日現在、
711件です。

問

現在、村が配信
している何種類か
の情報をもとに
見やすく、分かりやすい
情報配信をお願いします。

答

○村長

村内一律に画一
的な情報発信は難しいが、
その人に合った情報発信
の仕方を今後検討してい
きたいと考えます。



中山恵美賀 議員

子どもたちへの減農薬野菜の給食導入

A 可能な範囲で進めていく

問 本村は本年度より飛鳥学園では減農薬野菜や無添加食材による給食が開始されます。第4次飛鳥村総合計画では安心して安全な給食の提供として県内産、地元産の使用率を2022年度

の目標値は60%とありますが、現在何%でしょうか。

今後減農薬野菜の給食を進めるためには安定した生産及び供給が必要ですがその対策はどう考えてみますか。また保育園、保育所での導入は考えてみますか。

答

○村長

地産地消については、これまでも積極的に取り組み、令和元年度は41%の食材を県内産や地元産の食材で賄っています。今後も減農薬野菜の使用を可能な範囲で進めますが、安定的に食材を調達するためには、コスト面の課題や多くの生産農家のご協力が必要となります。また、保育園、

保育所での導入については、入所児と家庭での保育児の公平性を担保しながら、可能性を探ってみたいと考えています。

問

どのような計画でどのような献立食材での給食を考えていますか。

答

○教育部長

今年度の計画については、各学期に1回、年間計3回を予定しています。

1学期については、減農薬の玉ネギを使用した親子丼を予定しています。2学期以降については、カレー・小松菜のあえ物を予定しています。全てというわけにはいきませんが、調達可能な食材に減農薬野菜を使用していきたいと考えています。

問

県内産、地元産の食材を41%使用していると答弁されましたが、減農薬野菜を安定的に調達していくことは容易ではありませんが、

今後どのように調達されるのですか。

答

○教育部長

減農薬野菜を生産することは、環境面・育成期間・販路等、厳しい面もありますが、地元や県内で生産していただける方のネットワークを活用して、協力していただける方を確保していきたいと考えています。

○中山議員

安全な食べ物で子どもを守ることは社会の責務であると思います。



飛鳥学園 給食
玉ネギを使用した親子丼

コロナ禍の中での

フレイル(虚弱の状態)対策

A 状況を見極め、これまで以上に充実させる

問

本村は、健康長寿の村づくりの施策の中、フレイル対策が

拠点とする事業展開に苦慮しています。フレイル予防をはじめ

策の中、フレイル対策が充実しており要介護認定率は県平均より低いが、コロナ禍の中、この1年で要介護者の方の増加はどれくらいだったでしょうか。今後のフレイル対策はどのようにされるのでしょうか。

介護予防事業は、今後増え続ける高齢者対策でも重要な施策として認識しています。状況を見極めながらこれまで以上に充実させていきます。

答

○村長

要介護認定者数は、昨年の1年間で211人から217人と6人増加しています。

本村では、フレイル対策をはじめとする「予防」に重点を置き、充実した介護予防事業を展開し実施しています。

しかし、コロナ禍で思うように事業が実施できず、特に敬老センターを

新規の認定者数は、令和2年度は52人、明らかにフレイルが原因と思われる方は1名です。

フレイルに陥らないためにどんなことが重要と考えていますか。

フレイルに陥らないためにどんなことが重要と考えていますか。

フレイルに陥らないためにどんなことが重要と考えていますか。

フレイルに陥らないためにどんなことが重要と考えていますか。

フレイルに陥らないためにどんなことが重要と考えていますか。

答

○福祉課長
フレイルは、適

切にしかるべき介入が早期にできれば、元に戻すことが期待できるため、予防対策が重要だと考えます。

問

「フレイル予防対策」として力を

入れている事業等があるとのことでしたが、具体的にどのようなことを実施されていますか。

答

○福祉課長
大きくは2点あります。

1点目は、コロナ禍で事業が思うようにできないため、支援が必要な方へは、理学療法士が村の専門職と同行し、訪問型の運動支援を実施しています。

2点目は、アセスメント調査票を用い、その方の状態に合った運動教室への参加勧奨や専門職の介入が適切にできるようフロッチャート式支援の仕組みをつくっています。

Q 新型コロナワクチン接種とコロナ差別

A 相談窓口の周知・案内を進める

問

現在のワクチン接種の実施率は、

先進国でも低い状況で、全国民に行き渡るには、来年の春までかかるとも言われています。全国的に、ワクチンの集団免疫

効果が出るのはまだまだ先の話で、感染拡大はしばらく続くと予想されます。さらに、感染しやすく、早く重症化する変異株も広がっています。その一方で、ワクチンを接種したか否かによって、新たな差別が生まれるのではないかと懸念があります。ワクチン接種の有無で、何らかの差別や偏見、理不尽な処遇を受けることは、許されるべきことではありません。

村民がワクチン接種やコロナ差別について、正しい情報に基づいて、常識的な判断ができるように、丁寧に情報を提供しつつ、村民の人権意識を

答

○村長

高める対策を図るべきと思っております。そこで、本村における新型コロナワクチン接種の現状と課題、コロナ差別をどのように防止していくかについてお尋ねします。

希望者は7月24日までに接種完了予定です。65歳未満12歳以上の住民には、希望者への接種を9月中旬に完了するよう準備を進めています。

課題は、スムーズな接種予約を行うことや、接種全般について住民の理解を得ることなどです。

コロナ差別は、人権侵害につながる問題のため、誹謗中傷の防止を周知し、悩まれている方に、人権相談窓口「みんなの人権110番」をはじめ、様々な相談窓口の周知、案内を進めます。

Q 梅之郷地区の避難所と信号機の設置

A 避難所は来年秋ごろ、信号機は接道整備後を予定



新型コロナワクチン接種の様子

問

以前、梅之郷地区の避難所は、令和3年度中に完成されると伺っていましたが、令和4年度にずれ込むとお聞きしました。

そこで、梅之郷地区の避難所建設の進捗状況についてお尋ねします。

また、名古屋第二環状自動車道の完成に伴い、現在、協議中である梅之郷神社付近の信号機の設置は、予定どおり行われるでしょうか。

梅之郷地区の住民を中心に、国道302号によって東西に分断された道を通勤、通学のために往來しています。とても信号機がなければ安心して往來することはできません。住民の強い要望でもありますので、必ず信号機の設置がなされるよう切に願っておりますが、その件についても併せてお尋ねします。

伊藤 豊 議員

答

○村長

(仮称) 梅之郷地区津波一時避難所は、国道302号の道路敷地に建設を計画しており、関係機関との調整に時間を要したため、避難所完成は、来年秋ごろを予定しています。

また、現在愛知県公安委員会と協議中である梅之郷神社付近の信号機の設置については、年内に予定している国道302号の接道整備が完了したら信号機が設置されることを確認しています。



信号機設置予定箇所 (梅之郷)

Q コロナワクチン接種はいつできるのか

A 希望者の接種が9月中旬に完了するよう進めています



橋本 渉 議員

種がどのように進んでいるのかわかりません。

65歳以上の人のうち、485人の接種が済んだと聞いていますが、あとの人はいつ打てるのか、何人残っているのかお聞きしたい。

また、64歳以下の人たちは今後どのように接種するのか、年齢は何歳までか、申込書はいつ届くのか、申し込みはどうするのかお聞きしたい。

接種方法は集団方式なのか個別接種もあるのか、優先接種もあるのか、いつから始まり、いつまでに終わるのかお聞きしたい。

問 コロナワクチン接種は全国的にも遅れています。飛鳥村でも早く打ちたいの声があります。飛鳥村でのワクチン接

使うのかお聞きしたい。

答

○村長

65歳以上の高齢者の2回接種率は40%で、残りの60%の接種希望者にも7月中旬に完了する予定です。

65歳未満12歳以上の住民対象者には、6月中旬に接種券を送付し、9月中旬に完了するよう準備を進めています。また、取り扱うワクチンは、管理方法や接種作業での間違いを防ぐため、ファイザー社製で対応する考えです。

○保健環境課長
個別接種はウェブや電話予約等、集団接種は申込書での予約を検討しています。



新型コロナワクチン接種の様子

Q コロナ支援は今年度どんなことをするのか
新しい支援は考えているのか

A 今後も対策が必要と判断した際には、支援を講じていきます

問

コロナもなかなか治まらず、住民のみなさんの生活も大変ななっています。

今までもコロナ禍の中、住民への支援を進めてきました。

小中学校の給食費無料など大変喜ばれています。今年度も引き続き支援をしてほしいのですが、どのようなことをするのか、新しい支援も考えているのかお聞きしたい。

前年度やっていた支援でやめるものはあるのか、なぜやめるのかお聞きしたい。

PCR検査もやるべきです。

答 ○村長

コロナ対策支援については、当初予算では、飛鳥学園に通う生徒に対して、給食費の一部無償化、村外学生への支援、商工会が実施する商品券発行事業の助成拡大やひとり親家庭への支援を承認していただいております。

今定例会では、村内学生世代への支援、飛鳥学園の給食費無償化の延長、新生児子育て世帯に対する給付金の継続、高齢者施設や保育施設への検温カメラ設置を実施するための補正予算を上程させていただきます。

また、新しい支援策については、ワクチン接種による効果を見極めつつ今後対策が必要と判断した際には、講じていきたいと考えております。

○総務課長

今年度行っていない事業は、1人10万円を給付した特別定額給付金事業、



飛鳥学園 給食の様子

児童1人2万円を給付した子育て世帯臨時特別給付金支給事業、65歳以上に商品券1万円分を配付した高齢者生活応援事業などがあります。

○福祉課長

高齢者生活応援事業については、すこやか商品券の交付があり、高齢者への支援が偏るため今年度は考えておりません。

○保健環境課長

PCR検査については、あくまでも感染の有無を確認するための検査業務となり導入は考えておりません。

Q 「活気・魅力・人づくりの村」とは

A 村づくりビジョンを進めていく

問 広報とびしまの表紙に書かれているキャッチフレーズが「小さくてもキラリと光る村」から「活気・魅力・人づくりの村」に変わりました。

なぜ、変わったのか、その理由をお尋ねします。

答 ○村長

広報とびしまは、行政からのお知らせというだけではなく、村民の皆さまと行政とをつなぐツールと考え、「活気・魅力・人づくりの村」という村づくりビジョンを身近に感じていただくという思いから明記しました。

Q 住宅地開発の現況は、今後の取り組みは

A 開発に向けた計画等を整理する

問 村が行った渚地区住宅地開発について

いて、開発した結果並びに現在の状況を。また、渚地区住宅地開発の検証は、行ったのか。

答 ○村長

渚地区住宅地については、第1期として25区画、第2期として20区画を分譲しました。現在、2区画を除いた43区画において住宅を建築し、入居が済んでおります。

第1期分譲から5年目を迎えますので、検証作業として、新規住宅地開発整備構想検討委託事業において、アンケート等を行い、現状の把握や需要調査、候補地の選定及び評価を行い、新たな住宅地開発に向けた計画等の整理を行います。

Q 第5次総合計画は、どのように策定していくのか

A 住民の皆さまとともに目指す将来の村の形を策定していく

問 人口減少時代に第5次総合計画を策定するに当たり、どのように策定していく計画であるのか、お尋ねします。

答 ○村長

策定に際して、高齢化や人口減少という難しい問題に加えて、新型コロナウイルス感染症という世界的な危機を乗り越えた後の村づくりをどう描いていくのかを審議会委員の皆さまに伺いながらまとめていきたいと考えています。



八木 敏一 議員

また、村政の最高理念であることから、住民の皆さまの重層的な意見集約を経て策定してまいりたいと考えています。

Q 中途採用職員募集の目的は、何か

A 村職員の年齢層が少ない年代の補充

問

令和4年度採用の飛鳥村一般事務職の中途採用職員の募集目的は、何ですか。お尋ねします。

答

○村長 目的は、村職員の年齢層が少ない年代の補充とコロナ禍での離職を考えている優秀な人材を確保するため募集をしています。

Q 中学二年生の海外派遣事業の代替え事業は、どうなるのか

A 子どもたちの安全を考え検討する

問

中学二年生の海外派遣事業の代替え事業は、中学三年生を対象にしたイングリッシュキャンプ事業ですが、コロナ禍の中で、8月に実施できるかどうか、微妙な状況であると思うが、村はどう考えているのか、お尋ねします。

答

○村長 現在、緊急事態宣言が発令されており、また、変異株での感染者も増加していることから、子どもたちの安全を最優先に考え、様々な選択肢を検討しています。

Q ゴミの分別の指導等は、どうしているのか

A ホームページでの分別周知、分別アプリの配信をしています

問

資源ごみをガイドラインに基づかず、不燃ごみとして出すケースがあり、収集拒否をされています。そこで、村は村民に対して、どのような指導、教育等をしているのか、お尋ねします。

答

○村長 ごみの分別について、村ホームページに掲載しており、外国人の方へ6か国語の家庭ごみの出し方のパンフレットを作成し、掲載しています。また、「さんあーる」というごみ分別アプリも配信しています。

Q 介護保険特別会計は、適正に行われているのか

A 安定的に介護サービス等を提供し、適正に運営している

問

介護保険特別会計の歳入において、基金の繰り入れを受け入れる歳入科目がありません。なぜ、受け入れ科目が無いのか。また、介護給付費準備基金から介護保険特別会計に525万円繰り入れすると記載されているが、この繰り入れは第8期中のいつ行われるのか、お尋ねします。

答

○村長 介護保険準備基金の繰り入れは、第8期計画期間の後半で必要となる見込みです。今年度の子算においては、基金の繰り入れをしなくても特別会計を運営できるため、歳入に計上しておりません。

Q 古台ソフトボール場、服岡緑地の現状は

A 一体的な利用を含めて検討する



小川 政徳 議員

土日でも、人っ子1人いない服岡緑地（ピラミッド公園）。平日の日中では隣接道路が、トラックや営業車両の休憩所と化している状況であるが、どのような対策を講じているのか、村としてこのまま朽ち果てるのを待っているのか伺いたい。



古台ソフトボール場の横に停車しているトラック

問

この2、3年ほど、ほとんど使われていない古台ソフトボール場。

答

○村長

古台ソフトボール場は、近年利用者が減っているのが現状です。しかし、利用者が減少しても体育施設管理員が定期的にグラウンドの除草作業と周囲の樹木剪定を行うなど、適切に維持管理をしています。併設している服岡緑地は、経年劣化に伴って、木製遊具や噴水施設を撤去しました。また、パーゴラや木製ベンチ等、老朽化したものがありますので、安全性を確保するため、撤去または更新を検討し、地域住民の皆さまが利用しやすい環境を整備します。また、隣接する村道での駐停車の車両については、道路幅員の関係から直ちに駐停車が違反とは言えないものと認識してまいります。

今後、より有益な施設となるよう一体的な利用も含めて、検討したいと考えています。

問

古台ソフトボール場などの複雑な

使用申請ルールを団体申請だけでなく、個人でも借りられるようにハードルを下げて簡素化できないのか。

答

○生涯教育課長

現在、在住者で構成される団体で、窓口で登録申請をいただき、登録人数は、競技種目によって異なりますが、軟式野球だと9名以上、テニスだと2名以上で登録をいただいています。運動広場については、競技種目によって使用を

決めていますので、今のところ個人の登録については考えておりません。

○小川議員

公園駐車場だけではなく、周辺道路にはトラックや営業車等が止まっただけでトイレを使うのが怖いと相談もあり、またゴミの不法投棄等もあります。公園なので駐車を拒むことはできないのですが、村長より一体的な利活用を検討するとの答弁もありました古台ソフトボール場の利用、また防犯的にも考慮し検討をお願いいたします。



服岡緑地(ピラミッド公園)



梅之郷地区避難所建設の遅延理由

A 関係機関との調整によるもの

問

本来であれば、すでに着工している、来年令和4年3月には竣工するはずの梅之郷地区避難所の建設工事が未だに動いていない状況だが、ここに至るまでの経緯を伺いたい。

答

○村長

(仮称)梅之郷地区津波一時避難所については、国の道路敷地において占用許可を受けて建設するという計画であり、全国的にも珍しいケースです。そのため、関係機関との調整もあり、申請から許可までの期間が長くなったことにより、当初予定していました年度内の完成から来年度秋ごろの完成に変更させていただきます。

問

道路占用許可に関わる機関を教えてください。

答

○建設課長

道路占用については、名古屋国道事務所へ提出し、名二環と302号の工事を行っている愛知国道事務所との調整が行われ、そこから国土交通省中部地方整備局にて、審査を行い許可が出ます。

○小川議員

得し、建築確認申請を提出し、許可後、建築工事に入る予定です。

答

道路占用については、名古屋国道事務所へ提出し、名二環と302号の工事を行っている愛知国道事務所との調整が行われ、そこから国土交通省中部地方整備局にて、審査を行い許可が出ます。

国道に建つ全国的に珍しい避難所で、マスコミも飛びつきやすいニュースであると考えられます。慎重になるのは致し方無いが、スピードアップをお願いいたします。

問

道路占用許可申請を出した時期は、今後の申請、工事時系列を示していただきたい。

答

○建設課長

道路占用は令和2年10月に提出しており、3月までに許可が出る計画で進めておりました。

道路占用許可後、適合証明(都市計画法)を取



梅之郷地区避難所建設予定地